

北海道 教区時報

第228号

発行所
札幌市中央区北3条西19丁目
(郵便番号 060-0003)
北海道教区教務所
電話 011-611-9623
編集 北海道教区教務所
発行人 黒田 正宣



第30回 全道仏教婦人大会



多くのご参加
有難うございました

- ・ 執務方針 (2 p)
- ・ 実践運動委員会図&構成員 (3 p)
- ・ 予算書 (4 p)
- ・ 空知南組実践運動報告 (6 p)
- ・ シリーズ区令①(7 p)
- ・ 北海日誌・常例線一覧

(8月~10月分)

第一〇四回 定期教区会 執務所長 執務方針

先般、三月二十九日(金)、教化センター札幌別院にて「第一〇四回定期教区会」が開催され、財務議決議案、七件、法規議案一件について審議いたしました。左記は、二〇一三(平成二十五)年度教務所長執務方針でありますので、ご精読いただき、今後の教区の活動にご理解・ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

「このたびの一〇四回定期教区会に提出いたします、財務議決議案は、平成二十四年度歳計予算補正案二件、及び平成二十五年度各種歳計予算案五件の合計七件であります。

二〇一二度は宗派より「御同朋の社会をめざす運動」(以下、「実践運動」)が明確には示されなかった為、暫定的な予算において構成させていただきましたが、二〇一三年度予算については、今後の教区「実践運動」の推進を見据え

た上において構成いたしました。教区「実践運動」委員会において、教区の実情、課題を整理・検討すべく、「アンケート調査」を実施いたしました。結果、「教区に期待すること」として、「布教・伝道の研修システムの構築」、「お寺にご縁のない人への繋がりづくり」、「宗派情報の提供」が挙げられました。その結果を受けて、教区「実践運動」委員会は四専門委員会を設置し、その対応をすることとなっております。

また、北海道教区「重点プロジェクト」である「災害支援」については、「重点プロジェクト」を設置し、東日本大震災への支援活動を展開する予定であります。具体的支援活動として、現地での炊き出しや法座活動、被災寺院僧侶を研修会講師として招聘、福島の子どもたちの保養受入をさせていただきます。また、ボランティア

アに行かれる方へのコーディネート等、支援をさせていただきます。

また、二〇〇九年度より実施されております「差別学習プログラム」は、五ヶ年目を迎えます。二〇一二年度は、教務所長、対応委員二名が各組を巡回し、話し合い法座形式にて人権意識の向上の為、開催させていただきました。本年度は五ヶ年目として、各組を巡回し、対応要綱をもとに、教区の歴史を振り返り、差別への学びを深める目標のもと実施させていただきました。

また、キッズサンガ事業につきましては、キッズサンガアドバイザーを中心に、サポーターの養成、各組事業の進捗状況の把握に努めます。

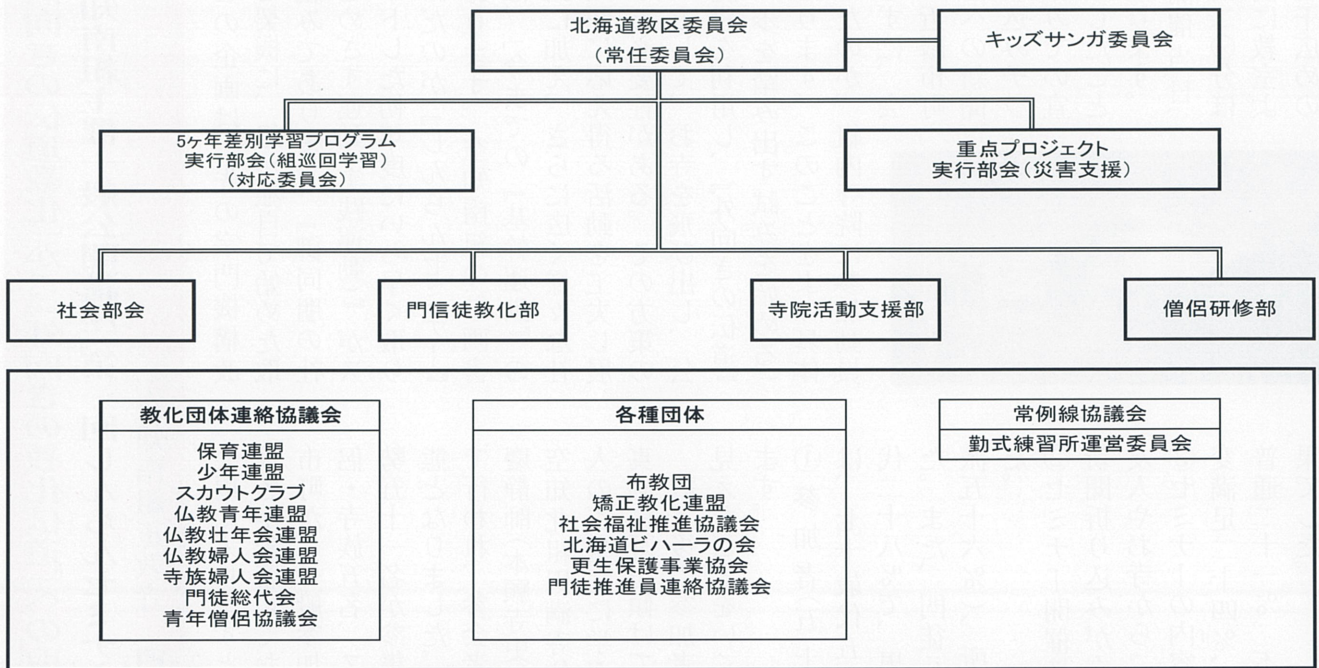
次に、法規議案は、「区令の廃止に関する区令案」でございませう。廃止する区令は「門徒総代会規則」で、現在北海道教区門徒総

代会は教区区令において定められた規則をもとに運営がなされておりますが、宗派規則と対応しない点が多々ありました為、教区区令より廃止し、北海道教区門徒総代会にて規則を設置していただきます。本件については、宗派法制部よりの指摘に基づくものであります。また、既に北海道教区門徒総代会より了承はいただいております。

以上二つの議案につきまして概略を提示させていただきましたが、詳細については担当者より説明いたしますので、お聞き取りいただき、ご審議の上、満場一致をもってご採択くださいますようお願い申し上げます。

二〇一三(平成二十五)年度一般会計北海道教区歳計予算書についてはP6・P7をご覧ください。

「御同朋の社会をめざす運動」北海道教区委員会 組織図



重点プロジェクト (災害支援) 実行部会	5ヶ年差別学習プログラム 実行部会 (対応委員)
部会長 加藤泰和(常任委員)	部会長 脇谷暁融(常任委員)
副部会長 久保田真剛	部員 林川 渉(常任委員)
部員 横湯誓之	[対応委員 上野正之]
部員 打本大志	[対応委員 藤本道樹]
部員 藤堂 亮	[対応委員 中井正博]
部員 千葉智史	
部員 臼井教生	

7名

2名 [5名]

部員は、北海道教区災害対策委員会・実行部会員があたる

部員は、北海道教区対応委員会・実行部員があたる

任期：2012(平成24)年～2013(平成25)年度

「御同朋の社会をめざす運動」北海道教区委員会 専門委員会委員名簿

敬称略

①社会部会	②門信徒教化部会
部会長 亀井義昭(常任委員)	部会長 豊田靖史(常任委員)
副部会長 牧田 宏(常任委員)	副部会長 阿部敬子(常任委員)
部員 迦西智憲(常任委員)	部員 金龍諒子(常任委員)
部員 小菅善雄(日高組代表)	部員 松平範慶(少年連盟代表)
部員 円山宗真(保育連盟代表代理)	部員 山崎八千代(門徒推進員代表)
部員 殿平 真(空知北組代表代理)	部員 打本厚史(上川南組代表代理)
部員 林 哲英(宗谷組代表代理)	部員 舛田那由他(胆振組代表代理)
部員 菅原誓之(釧路組代表代理)	

8名

7名

③僧侶研修部会	④寺院活動支援部会
部会長 忍関崇教(常任委員)	部会長 河崎琢哉(常任委員)
副部会長 伊澤浄雄(常任委員)	副部会長 稲垣紘順(常任委員)
部員 八村弘英(常任委員)	部員 武澤信行(函館組代表)
部員 石堂了正(常任委員)	部員 松枝隆正(後志組代表)
部員 名和康成(空知南組代表)	部員 鈴木勝也(根室組代表代理)
部員 奥 孝丸(北見西組代表)	部員 北橋 誠(仏青連盟代表代理)
部員 桃井直行(十勝組代表代理)	部員 関藤和雅(スカウトクラブ代表代理)

7名

7名

部員は、北海道教区委員から選出(宗会議員・教区会議長・組長会長と委員長・副委員長を除く)

任期：2012(平成24)年～2013(平成25)年度

「内向きの伝道教化」から『外向きの教化伝道』への取り組み 空知南組主催一般公開講座『第一回しんらんセミナー』の試みから

空知南組正教寺 門徒 前山勇治

この企画は、先の宗門機構改革を契機に、組が独自で始めた取り組みであります。『御同朋の社会をめざす運動(実践運動)』がスタートした初年度にいち早く取り組んだのが『しんらんセミナー』であります。空知南組の計画書には、「今までの『基幹運動』の活動に加え、さらに広く様々な社会問題にちえ得る活動を工夫し展開する必要がある。その方策の一つとして、お寺を飛び出し、公共施設を利用し、『外向きの伝道』の一步を踏み出す試みを始める」とあります。このことをより具体化したのが、組内寺院に参加動員をせずに、会場の近隣市町各戸への新聞折り込みチラシのみでの宣伝としたことでありました。



開催当日、開会二〇分ほど前に教室より若干広めの会場に入りますと、すでに参加者数名が着席しており、定刻には八市町から一般参加者三十八名、僧侶・寺族五名、スタッフ八名の総勢五十一名が参集し、ほぼ満員状態となりました。今回は講演形式で行われ、参加者は、ご講師金龍慶静師(本願寺史料研究所副所長・空知北組円満寺住職)の「親鸞聖人のご生涯に学ぶ」のご講話に、真剣に耳を傾けていました。終了後の参加者アンケートから見えたことをいくつか紹介してみます。

④筆記欄には、参加後の感想と次回以降への要望が記載されていました。感想記述はごく少数でした。「時期は適当」「今までの研修の復習もできよかった」「大変分かり易かったが、初めて聴く人には難しいのでは?」「話についていけない」等の意見が寄せられていました。



また、次回以降への具体的な要望や方策として、「親鸞聖人のみ教え、歎異抄、宗教心と生き方、宗門の実践プロジェクト」等についての学びのこと、「新聞広告の活用、理解し易いアニメなどの活用、小規模な集会」等の運営に関することなどの貴重な意見が寄せられました。さらに、この取り組みの様子を耳にした本山関係者から高い評価を受けたとも伺っております。

組としては、この活動が浄土真宗を含む仏教のみ教えに馴染みの少ない一般の人びとからも支持を受け、大きな成果を得たと捉えています。組織的論議を深め組織が一体となって執り進めることを確かめ合い、一歩踏み出し具体的な実践を展開することの大切さを改めて体感することができたと伺っております。この取り組みは、見えてきた課題解決をめざし、新年度も継続実践すると聞いております。宗派や教区には、このような意欲的な取り組みに対して、その経験や内容、成果等を精査の上、特区的手法を取り入れるなどして、財政的助成、支援措置ができないものか、検討してもらいたいことと思えます。この取り組みが一組だけにとどまらず、教区内各地で行うことができれば、過疎過密対策、お寺離れという現状に具体的にメスを入れることにもつながると思うことでもあります。

この『しんらんセミナー』の活動を通して、多くの人びとに、「そつとつながる。ホッがつたわる」ご縁が広がることを願い、大きな成果につながるよう期待しております。

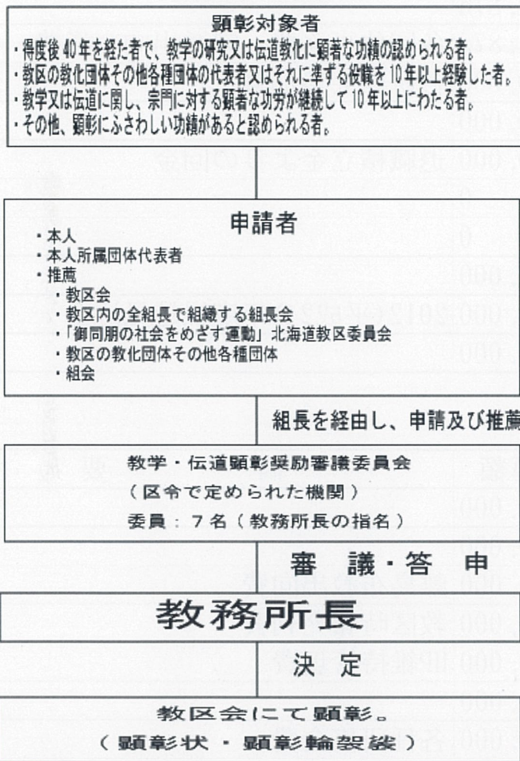
シリーズ区令① 教学・伝道顕彰奨励制度について

多年にわたる教学振興又は伝道教化活動(社会教化を含む)に顕著な功績を挙げた方を顕彰し、及び今後の活動に寄与すると認められる方を奨励するため、「教学・伝道についての顕彰及び奨励に関する規則」が区令により定められております。顕彰については、本人・団体の代表者の申請、又は区令に定められている機関・団体の推薦によって申請することができ、ます。「顕彰」とは、「隠れている功績を公に顕す」という意味から、当該人を教区会にて顕彰状並びに顕彰褒物を本人に贈与し、顕彰させていただきます。

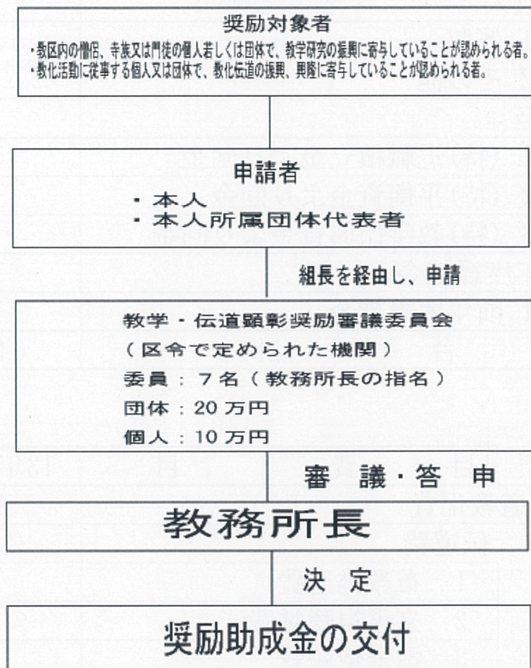
また、奨励については、本人または団体の申請をいただき、奨励金助成を以て行います。奨励金助成額については、「教区伝道顕彰奨励審議委員会」にて協議し、教務所長が決定いたします。詳しくは、図を参考にしてください。

この顕彰・奨励については、北海道教区内僧侶・寺族・門信徒が対象であります。寺院・組において、顕彰・奨励にあたる対象者がいらっしやいましたら、まず、教務所までご連絡下さい。

顕彰の流れ



奨励の流れ



北海道教区区令「教学・伝道についての顕彰及び奨励に関する規則」を图示したものです。(2013(平成25)年7月26日現在)

第八回教区真宗青年の集い開催

来る、八月三十一日(土)〜九月一日(日)に第八回教区真宗青年の集いが札幌別院を会場として開催されます。

今回は来年度開催される、全国大会のプレ大会として行われるものです。お忙しいとは思いますが、組内の方々をはじめ門徒の皆様にお声がけいただき、多くのご参加を賜り、来年の全国大会をよりよいものとしていきたいと思っております。

詳細については別紙の要項をご覧ください。



2013(平成25)年度 一般会計 北海道教区歳計予算

歳入

款	項	目	費	目	予	算	額	摘	要
1	教区賦課金				50,735,125				
	1	本年度賦課金			50,735,125			教区賦課金	
	2	過年度賦課金			0				
2	宗派助成金				23,160,000				
	1	懇志助成金			7,500,000			門徒講金教化助成、他	
	2	各種助成金			12,200,000			宗派各種助成金	
	3	各種交付金			3,460,000			宗派各種交付金	
3	冥加金				1,830,000				
	1	願記冥加			1,800,000			願記手数料(宗派の2分の1)	
	2	その他冥加			30,000			得度考査手数料	
4	教化協力金				3,130,000				
	1	教化協力金			3,130,000			道内別院よりの教化協力金	
5	雑収入				1,844,875				
	1	雑収			1,444,875			各団体事務費、宗派出向交通費	
	2	その他			400,000			各研修会参加費	
6	回金				100,000				
	1	(特)退職積立金より回金			100,000			退職積立金よりの回金	
	2	(特)平衡資金より回金			0				
	3	(特)教学振興資金より回金			0				
7	前年度繰越金				16,000,000				
	1	前年度繰越金			16,000,000			2012(平成24)年度繰越見込金	
		合		計	96,800,000				

歳出

款	項	目	費	目	13年度予算額	摘	要
1	伝道教化費				16,850,000		
	1	伝道費			1,020,000		
		1	布教推進費		250,000		離島布教出向費
		2	文書視聴覚費		650,000		教区時報発刊費
		3	電子情報費		120,000		HP維持管理費
	2	寺院振興費			5,830,000		
		1	研修費		3,100,000		各種研修会費
		2	推進費		2,730,000		重点プロジェクト推進費、他
	3	組織教化費			10,000,000		
		1	組教化助成		6,600,000		組助成金
		2	連盟助成		2,100,000		各連盟助成金
		3	団体助成		600,000		各団体助成金
		4	社会教化助成		450,000		矯正教化助成、更生保護助成、他
		5	学事助成		250,000		道内宗門校助成金
2	各種交付金				3,460,000		
	1	各種交付金			3,460,000		各組、各団体交付金(収納2-3と連動)
3	会議費				14,020,000		
	1	教区会費			3,020,000		
		1	教区会		1,800,000		教区会開催経費
		2	常備会		800,000		常備会開催経費
		3	諸費		420,000		会計監査、全国議長会会費、他
	2	組長会費			1,850,000		

款	項	目	費	目	13年度予算額	摘	要
		1	組長会		1,800,000	組長会開催経費	
		2	諸費		50,000	組長会関係費	
	3		実践運動推進委員会		7,800,000	名称変更	
		1	委員会費		7,700,000	実践運動委員会会議費	
		2	諸会議費		100,000	目録上	
		2	組相談員会		0	費目削除	
	4		各種会議費		1,350,000		
		1	地方選挙管理委員会		150,000		
		2	各種会議費		1,200,000	常例線協議会開催経費、他	
4			事務費		11,470,000		
	1		通信交通費		6,620,000		
		1	通信費		1,620,000	教務所事務にかかる通信費	
		2	交通費		5,000,000	職員出向費	
	2		渉外費		1,640,000		
		1	各種団体負担		410,000		
		2	寄贈接待費		230,000		
		3	慶弔費		500,000	慶弔規程に則る	
		4	交際費		500,000	教務所長にかかる交際費	
	3		宗会選挙事務		50,000		
	4		諸費		3,160,000		
		1	印刷費		1,300,000		
		2	備品費		500,000		
		3	事務機器費		1,010,000		
		4	消耗品費		300,000		
		5	雑費		50,000		
5			管理費		1,330,000		
	1		維持費		1,330,000		
		1	水道光熱費		1,200,000	本願寺札幌別院へ支払い	
		2	警備費		80,000	金庫警備費	
		3	諸税费		50,000		
6			教務所員費		41,960,000		
	1		職員費		25,000,000		
		1	職員俸給		25,000,000	職員給与(職務俸+等級俸)	
	2		諸手当		12,700,000		
		1	慰労手当		9,000,000	定期慰労手当(6月、12月)	
		2	各種手当		3,600,000	家族手当、住宅手当、他	
		3	退転職手当		100,000	退職者にかかる退職手当	
	3		職員関係費		4,260,000		
		1	厚生福祉費		160,000	職員健診費用	
		2	各種保険事業主負担		4,100,000	社会保険関係費	
7			回金		1,600,000		
		1	(特)退職積立金へ回金		1,600,000	(特)退職積立へ回金	
		2	(特)平衡資金へ回金		0		
8			予備費		6,110,000		
		1	予備費		6,110,000		
		1	第一予備費		5,030,000		
		2	第二予備費		1,080,000		
			合	計	96,800,000		

▼北海日誌

【報告】

- 4月9日 勤式運営委員会
- 11日 少年連盟三役会
- 13日 教区仏青連盟総会・研修会
- 14日 全国仏青 第2回実行委員会
- 第2回重点プロジェクト実行部会
- 15日 少年連盟会計監査 真宗教団連合第1回拡大理事・評議員会
- 18日 仏教婦人会総連盟総会(京都)
- 19日 教区少年連盟総会 全道仏婦打合せ(斜里町)
- 22日 教区保育連盟総会・第1回研修委員会
- 23日 教誨師連盟会計監査
- 24日 キッズサンガアドバイザー会議
- 25日 実践運動 専門委員会正副部長会議 全道仏婦打合せ
- 29日 仏教壮年会理事会・総会・研修会
- 30日 小樽別院輪番歓迎会
- 5月1日 門徒総代会第1回常任幹事会
- 2日 布教団会計監査
- 7日 布教団第1回役員会・第1回常例線協議会
- 7日 札幌刑務所総会
- 8日 実践運動 第1回合同専門委員会
- 9日 仏教婦人会 理事会・総会・研修会
- 11日 まことの保育入門セミナー
- 16日 重点プロジェクト相馬組常福地清掃支援活動(～19日)
- 19日 全国仏青 第1回行事部会
- 20日 真宗教団連合「親鸞聖人・関東御旧蹟参拝 旅行」(～23日)
- 23日 ビハーク評議員会
- 26日 本願寺函館別院落成法要
- 27日 布教団総会・研修会
- 28日 第2回重点プロジェクト実行部会
- 第46回少年連盟指導者研修会(釧路市)
- 29日 第1回教学・伝道顕彰奨励審議委員会
- 30日 実践運動 第1回常任委員会
- 6月1日 スカウトクラブ総会
- 2日 全国仏青 第2回行事部会
- 3日 キッズサンガサポーター協議会
- 4日 寺族婦人会連盟 総会・研修会
- 5日 更生保護事業協会北海道支部 総会
- 6日 政教分離を守る北海道集會(旭川)
- 10日 実践運動 第2回社会部会
- 11日 第1回保育連盟理事会 全道仏婦打合せ(美幌)
- 12日 実践運動 第2回寺院活動支援部会
- 13日 門徒総代会常任幹事会
- 17日 全道仏婦打合せ(中標津)
- 特別法務員の会総会・法式研修会(～18日)

- 18日 真宗教団連合研修委員会・研修会(大谷派教務所)
- 19日 札幌矯正管区理事会(函館)
- 20日 地方教誨師研修大会(～21日 函館)
- 保育連盟拡大委員会
- 26日 北見東西組歓迎・研修会(網走)(～27日)
- 27日 全道仏婦大会(知床)
- 29日 全国仏青 第3回行事部会(倶知安)
- 7月2日 連研履修者・門徒推進員研修会(日高組)
- 3日 空知南組 巡回学習会
- 4日 連区布教使研修会(～5日)
- 5日 Aブロック総代研修会(～6日 札幌)
- 第2回保育連盟理事会
- 6日 第3回スカウトキャンポリー実行部会
- 10日 実践運動 第2回借侶研修部会 ビハーク講座(根室)
- 11日 常備会
- 12日 実践運動 第2回門信徒教化部
- 13日 全国仏青 第1回広報委員会(～14日帯広別院)
- 14日 なごみの茶会
- 15日 講社総会・総会研修会
- 16日 矯正教化連盟総会・研修会
- 17日 Cブロック総代研修会(～18日 釧路)
- 19日 第3回重点プロジェクト実行部会
- 22日 第2回常例線協議会
- 23日 実践運動 常任委員会
- ボランティア養成研修会
- 25日 寺院振興対策委員会
- 26日 第1回臨時教区会

【予定】

- 8月3日 全国仏青 第4回行事部会
- 13日 教務所夏期休暇(～17日)
- 17日 第4回キャンポリー実行部会
- 19日 実践運動 第3回門信徒教化部会
- 20日 函館組 巡回学習会 少年連盟第1回理事会
- 21日 実践運動 第3回寺院活動支援部会
- 30日 道内別院職員研修会(小樽別院)
- 31日 第8回教区真宗青年の集い(～1日)
- 9月7日 ビハーク連区研修会
- 10日 実践運動 第3回社会部会
- 12日 第1連区議長・所長会(築地本願寺)
- 18日 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要
- 28日 布教大会(帯広別院)
- 10月1日 上川北組 巡回学習会(名寄市)
- 2日 上川南組 巡回学習会(旭川市)
- 7日 利尻島布教(～9日)
- 21日 Bブロック門徒総代研修会

北海道教区常例布教日程(予定)

札幌別院	別院	北見西	北見東	釧路根	十勝II	十勝I	日高	胆振	上川北	上川南3	上川南2	上川南1	空知北	空知南	後志	函館	札幌II	札幌I
(北海道教区・函館組・誓願寺)	(高岡教区・若神組・光園寺)	(福井教区・種山組・護念寺)	(熊本教区・種山組・護念寺)	(山陰教区・鹿足組・善正寺)		(東海教区・海幡組・普元寺)		(熊本教区・種山組・光澤寺)					(北海道教区・留萌組・西暁寺)	(兵庫教区・多加組・西教寺)	(東北教区・秋田組・正念寺)	(四州教区・宇和島組・圓立寺)	(東京教区・相模組・恵光寺)	(山陰教区・鹿足組・善正寺)
(東京教区・世田谷組・正法寺)	(兵庫教区・多加組・西教寺)	(北海道教区・留萌組・信行寺)	(北海道教区・十勝組・誓願寺)	(北海道教区・十勝組・妙法寺)		(福岡教区・御笠組・願應寺)		(兵庫教区・高砂組・善行寺)					(山陰教区・飯石南組・真向寺)	(山陰教区・飯石南組・真向寺)	(北海道教区・札幌組・覚英寺)	(山陰教区・大田組・浄土寺)	(山陰教区・飯石南組・真向寺)	未定
		(北海道教区・空知南組・誓報寺)	(備後教区・沼隈西組・大東坊)		(北海道教区・十勝組・妙法寺)			(北海道教区・留萌組・善勝寺)			(熊本教区・託麻組・良覚寺)			(北海道教区・札幌組・覚英寺)	(東京教区・茨城東組・清心寺)		(山陰教区・鹿足組・善正寺)	(兵庫教区・出石組・乗専寺)

敬称略

※変更になる場合がございますのでご了承くださいませ。